

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	由利本荘市			代表者名	湊 貴信
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	総務部行政改革推進課	連絡先電話番号	0184-24-6383
担当者役職	班長	担当者氏名	木内 崇	連絡先E-mail	
住所	015-8501 秋田県由利本荘市17				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	由利本荘市デジタル人材育成研修		
概要	職員にデジタルについての見識を深めてもらい、現場からデジタル化への提案等を促すことにより、より市民目線によるデジタル化を図ることを目的として、デジタル人材の育成・確保の研修を実施する				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月27日	支援・助言&講演(実地)	9時00分	11時30分	10
				活動時間(分)	140
2-2. 派遣場所	会場名	由利本荘市役所 本庁舎		最寄駅	羽後本荘駅
	所在地	由利本荘市尾崎17		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	受講生自身の業務フロー作成を事前課題とし、当日はワークショップによるフローの改善検討及び発表を行ったが、受講生への的確なアドバイスにより、各班で積極的に改善検討が行われ、前向きな内容で改善案が示すことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。 次年度以降も継続して派遣希望。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	20人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	20			

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	本市では、各種デジタル化を推進してきているところであるが、今までデジタル化に関する対面形式での研修等は実施したことがなく、職員個々におけるデジタル化についての理解が十分ではないのが現状である。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	職員がデジタルに関しての理解度を深めることにより、現場(原課)の市民目線に基づいたデジタル化を推進する。これにより、オンライン申請の充実や書かない窓口の拡大を促し、職員と市民双方の利便性が向上するとともに幸福度が増大する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	「業務フローを改善してみよう」と題し、ワークショップを実施した。実施にあたり、受講生へ事前課題として、自身の携わってきた「業務フロー」を作成してもらった。ワークショップでは、班ごとにその業務フローを発表したあと、最も業務改善が見込まれそうな業務フローについて改善案を出し合い発表した。各班から出された改善案について、講師よりの確かなアドバイスをいただき、前向きで実現性の高い改善案となった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	今までほとんどの受講生が業務フローを作成したことがなく、業務フロー作成自体が自らの業務を見つめ、流れを整理する機会となった。その業務フローを班ごとに議論し、さまざまなアイデアを出し合いながら、多くの視点から改善案を出すことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 業務フロー改善案	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 2日間の支援終了後に、アンケートを実施	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員がデジタルに関する理解度を深めることにより、現場(原課)の市民目線に基づいたデジタル化を推進する。これにより、オンライン申請の充実や書かない窓口の拡大を促し、職員と市民双方の利便性が向上するとともに幸福度が増大する。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

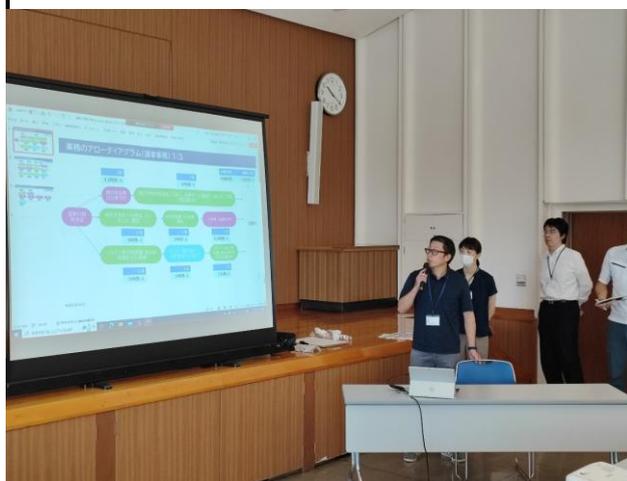
掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



Blank space for pasting photos.